



授与された岸保・立平賞

民間企業として初の岸保・立平賞受賞

当社は国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催された(公財)日本気象学会春季大会において、岸保・立平賞を民間企業として初めて受賞しました。

この賞は、気象学および気象技術の学術的、技術的成果が社会に多大なる貢献をなしたものに与えられる賞で、多様な高層気象観測用ゾンデと各種センサの開発によりわが国の気象観測と学術研究を支えてきた功績が評価されました。2008年に気温基準ゾンデを開発して以来、2016年までに11種類のセンサを開発し、国内外の多くの研究活動で利用されています。

明星電気は今後も気象環境市場のニーズを的確に把握し、産学連携を通じた社会貢献を目標に製品開発を継続していきます。

(担当:気象防災事業部)



軽粒子観測装置センサ



磁力計センサ

「みちびき2号機」に宇宙環境データ取得装置SEDA搭載

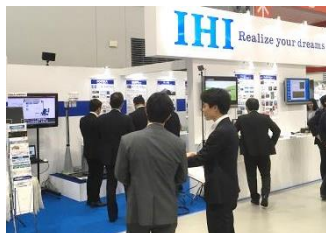
6月1日、準天頂衛星「みちびき2号機」を搭載したH-II Aロケット34号機が、種子島宇宙センターから打ち上げられました。

「みちびき2号機」は日本版GPSと呼ばれ、2010年に稼働を始めた1号機と今後打ち上げ予定の2機を合わせ4機稼働することで、カーナビやスマートフォンなどで得られる位置情報の誤差を数センチまで縮める効果が期待されます。当社は、「みちびき2号機」に搭載されたSEDAを担当しています。SEDAは、軽粒子観測装置センサ、磁力計センサの2種類のセンサを持っており、衛星搭載装置の誤作動の評価や不具合時の原因究明の基となるデータを取得するとともに、取得したデータを衛星設計に反映することを目的としています。「みちびき1号機」に搭載した同装置の実績が評価され、今回継続して搭載となりました。

SEDAのような宇宙環境観測装置は実用衛星に欠かせない装置であり、今後打ち上げの衛星にも搭載が期待されます。

※ SEDA : Space Environment Data Acquisition

(担当:宇宙防衛事業部)



展示ブース全景

建設技術公開「EE東北'17」に出展

6月7、8日に国土交通省東北地方整備局主催で「EE東北'17」が、仙台港の夢メッセみやぎで開催され、当社はIHIグループとして出展しました。

292社が出展したこの展示会では、来場者も昨年を上回る過去最高の15,600人を記録しIHIグループブースにも昨年を超える300名の来訪をいただきました。ブースでは、建設生産システム効率化のためのシステム・工法・建材の紹介とともに、建設現場での気候急変による突風や、地震に対する安全対策として利用例のある当社の超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKAや緊急地震速報対応機器(S704、S740)、計測震度計(S210)を展示しました。来訪者の方からは、気象や地震に関する奥深い多岐にわたる質問をいただき、新たな技術を吸収する意欲が伝わってきました。

明星電気は気象防災製品で震災の復旧、復興に対する地域社会の発展に貢献します。

(担当:東北支店、プロジェクトグループ)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。